

2009 年度

危なげなく連覇達成

関西実業団駅伝 (和歌山県：龍神村 80.45km)

3 時間 59 分 35 秒 (優勝)



2 連覇のゴールテープを切る大塚製薬のアンカー電田一和歌山県田辺市龍神村

大塚製薬が連覇

若手底上げ 戦力充実

昨年の優勝メンバーから3人が流れをたくり寄せる好走。4区山岡主将は2、3区の遅れをほんで来た」と納得の表情を浮かべた大塚製薬。ベテラン、中堅、若手が揃った。優勝タイムは昨年を35秒上回る3時間59分35秒をマークした。

重要な1区で30歳の井筒が流れをつくった。先頭集団がけん制し、6区末吉は終盤に勝利を決定づけた。たすきを受けた時点では2位・佐川急便と4秒差だったが、相手を「存在感をアピールしたい」と三合うなか、勝負どころを冷静に判断。ラスト1区でスタートし、ト断。今季は北海道マラソンで8選手層が増し、充実した戦力でトップをたすきをつないだ。28歳の山岡主将、27歳の古は優勝へ、し、初めて駅伝メンバー入り。なった。(城福)

最長区間を担った松岡佑、松浦をはしめとする若手の底上げがあり、ベテランの短兵、中堅の井川、実力選手も控える。松岡佑は「存在感をアピールしたい」と三合うなか、勝負どころを冷静に判断。今季は北海道マラソンで8選手層が増し、充実した戦力でトップをたすきをつないだ。28歳の山岡主将、27歳の古は優勝へ、し、初めて駅伝メンバー入り。なった。(城福)